



SDGs への取り組み強化について ～「3つのしょく(食・職・色)」で SDGs の達成に貢献～

2020年12月01日

農業法人 有限会社グリーンフィールド

農業法人 有限会社グリーンフィールド(以下、グリーンフィールド)は、「SDGs(持続可能な開発目標)」における様々な社会課題に対し、「3つのしょく(食・職・色)」を基本としたアプローチを本業で推進することにより、その課題解決に貢献するとともに、持続可能な食農産業の実現に取り組みます。

グリーンフィールドは、2005年の創業以来、「自然の恵みに感謝」「やさいやくだものに情熱を、人々の心にゆとりと活力を。」をモットーに掲げ、日々お客さまに安心・安全でよりよい商品を安定供給すべく研鑽を重ねてまいりました。

お近くのスーパーやコンビニで見かける「カット野菜シリーズ」は、徹底した品質・衛生管理を行い野菜の鮮度を保つだけでなく、お客さまのニーズに応じた受注システムを採用しています。その他、いつでもシャキッと新鮮な沖縄県産の野菜をご提供する「冷凍野菜シリーズ」や最新のスチーム技術で素材本来の持つ成分をそのままにホクホクのおいしさを提供する「スチーム野菜シリーズ」などを展開しています。

この度、2020年4月に「SDGs推進プロジェクト」を立ち上げ、大自然に育まれた「農作物」をより大事に活かすため。そして、人々の暮らしの幹となる「食生活」をより豊かに育んでいくため。という視点で議論を重ねた結果、12月01日から「私たちグリーンフィールドは、3つのしょく(食・職・色)で、SDGs の達成に貢献します！」を念頭に、沖縄県そして食品業界と農業界における SDGs およびサステナビリティ活動を推進してまいります。

加えて、「沖縄の食料自給率の向上」や「消費市場への安定供給」そして「農業に携わる人材の発掘・育成・定着」などを含めた持続可能な農業「=食農産業化(食卓と農業のつながり)」への発展を図ってまいります。

(※) SDGs の監修は、特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会が担当

▶グリーンフィールドが掲げる3つのしよく(食・職・色)とは ~その1~



食卓と農業を繋ぐ豊かな社会

- 1 – ゴーヤーのわた・種をお茶の原料に(17t/年間)
- 2 – キャベツなどの未利用部分を野菜だしの原料に
- 3 – 循環型農業への実践(3社による連携・共同体制)

→2023年には自社内に農業部門(食農産業へ)

SDGs監修：特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会

<2020年現在>

グリーンフィールドでは「カット野菜シリーズ」などの製造過程で出る野菜の未利用部分に着目し、ゴーヤーのわた・タネをお茶の原料として供給することにより有効活用しています(約17t/年)。また、キャベツやタマネギの外皮、ニンジンの皮、セロリの葉などを原料とした野菜だし(ベジブロス)の製品化を進めています(約0.3t/年)。その他、毎日仕入れる野菜(約10t)のうち、キャベツの芯などの廃棄部分(約3t)については「たい肥」の原料とすることにより3社連携・共同体制による循環型農業の実践を行っています。

<今後の目標・計画>

2023年(03年後) 自社内に農業部門(生産部)を立ち上げ、食農産業化への第一歩

2025年(05年後) 農業従事者の高齢化対策として、若手人材の発掘・育成・定着化

2030年(10年後) 野菜の生産性向上と平準化推進(環境に左右されない野菜工場等)

▶グリーンフィールドが掲げる3つのしよく(食・職・色)とは ~その2~



The infographic features four red boxes with white icons and text representing SDG goals: 1 (貧困をなくそう), 4 (質の高い教育をみんなに), 8 (働きがいも経済成長も), and 10 (人の間の不平等をなくそう). To the right is the Green Field logo with the tagline '自然と美しく生きる GREEN FIELD'. The main title is '誰もが活躍できる職場づくり' (Creating a workplace where everyone can thrive). Below it are three bullet points: 1 - Monthly 4-hour investment in human resource development per employee; 2 - 45% of the total workforce are foreign employees, with a focus on retention and training; 3 - Building a system to visualize employee growth (growth support system). A goal for 2025 is highlighted in orange: '→2025年には役員女性の女性比率を15%以上に' (Increase the ratio of female board members to 15% or more by 2025). At the bottom, it says 'SDGs監修：特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会' (SDG supervision: Okinawa Human Resource Cluster Research Association).

<2020年現在>

グリーンフィールドでは10年前より人材育成に注力し、経営陣や管理職だけでなく一般社員に対しても研修の機会を提供しています。現在は正社員のみに対応しておりますが、今後はパート社員や契約社員も含めた全従業員への研修制度を充実していきます。また、全体の45%を占める外国籍従業員の定着・育成を目的として、工場長が外国人技能実習生の実家（ベトナムなど）を家庭訪問し、毎年の近況報告と両国の国際交流を行っています。今後は、沖縄県が定める「沖縄県人材育成企業認証制度」を含め各種公的機関の人材育成関連の認証制度への挑戦を積極的に行う予定です。

<今後の目標・計画>

2023年（03年後）技能実習生の優良な実習実施者の要件を取得し最大100名の受入れ

2025年（05年後）役員に占める女性比率15%以上、福祉業界との「農福連携」を展開

2030年（10年後）役員に占める女性比率30%以上、外国人リーダー（管理職）5名以上

▶グリーンフィールドが掲げる3つのしよく(食・職・色)とは ~その3~

2 食糧を
ゼロに

3 すべての人に
健康と福祉を

12 つくも責任
つかう責任

17 パートナシップで
目標を達成しよう

自然と美しく生きる
GREEN FIELD

7色野菜で安心・安全・健康

1 – ISO22000の認証を取得し、食の安心・安全を実現

2 – 「菜・色・健・美BEAUTY SOUP」を7色(7種類)へ

3 – Jveganやウェルネス・オキナワ・ジャパンの認証

→2030年には他業界と連携した様々な事業展開

SDGs監修：特定非営利活動法人沖縄人財クラスタ研究会

<2020年現在>

グリーンフィールドではISO22000(食品安全マネジメントシステムに関する国際規格)認証を取得し、安心・安全な食品の提供を担保しています。自社開発商品「菜・色・健・美 BEAUTY SOUP」については、JVegan(製品)認定、ウェルネス・オキナワ・ジャパン(沖縄県健康食品ブランド)を取得し、誰もが安心して美味しさを感じられる食品を食卓にお届けできる取り組みを進めています。現在は3色(3種類)「温もり かぼちゃ」「負けない トマト」「潤い にんじん」のラインナップについても7色(7種類)への拡充を図り、7色健康法の素材として活用できるよう準備を進めています。

<今後の目標・計画>

2023年(03年後) FSSC22000の認証取得、スープや野菜だしの離乳食や介護食の開発

2025年(05年後) ベジタリアン、ヴィーガン向けの商品・レシピ開発や啓蒙活動の拡充

2030年(10年後) 他業種・業界と連携した収穫体験、食育講座などの連携体制の構築

Press Release